

【浜田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

浜田市は、学習指導要領及び中央教育審議会答申等の内容を踏まえ、児童生徒の1人1台端末の環境を最大限活用しながら、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を実現していくためにデジタル教科書等の活用拡大を図っていく。

さらに今後はAIテクノロジーを駆使したデジタル教科書やクラウドツールの活用を拡大することによって「主体的な学び」の実現に向けて加速し、これからの児童生徒がデジタル社会を生き抜くために必要とされる情報活用能力の育成を推進していく。

2. GIGAスクール構想「第1期」の総括

浜田市は、令和2年度に児童生徒の1人1台端末及び通信ネットワーク基盤の整備を実施し、児童生徒が日常的に必要不可欠な「学びの道具」としてデジタル教科書などの各種デジタルツールを活用できる環境を構築した。

一方、導入後4年以上の歳月が経過したことによって、機器の故障、破損やネットワーク通信帯域の不足が懸念されることとなっている。これについては、適切な機器更新の継続的実施、及びネットワークアセスメントを定期的に実施して通信帯域の不足化を未然に防止する対策が必須である。

3. 1人1台端末の利活用方策

浜田市は、学校ICT環境整備により導入した児童生徒の1人1台端末の有効活用を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の改善等に活かすため、ICT技術に関して知見を有するGIGAスクールソポーターを配置するとともに、ICT支援員による教職員を対象とした研修を充実させて、ICTを活用した指導力の向上を図る。

また、AIドリルを学校、家庭での学習に取り入れ、児童生徒が端末を活用しながら自身の特性や理解度、進度に合った課題に取り組める環境の整備を目指す。

これらを円滑に実現していくためには引き続き、端末、電子黒板、デジタルツール等の整備、及び通信ネットワーク基盤の安定稼働を維持していくことが重要である。